

12月にJリーグ代表者が一堂に会して一年間の功績を称える『Jリーグアウォーズ』が行なわれた。プロ選手約1500名の頂天に立ったサンフレッチェ広島選手・監督、そして各ポジション毎に選ばれた選手も壇上で紹介された。

それぞれの選手の活躍の様子が映像で紹介されたが、それ以上に彼らのスピーチも素晴らしく、身体を鍛え技術を磨き、心も磨いた人達だと感心した。

FC岐阜にもラモス監督の下、素晴らしい選手が育っており、多くの新戦力の選手やコーチも加わり、1月21日には新体制の発表を行った。

これから合同練習や強化合宿を経て2月21日に長良川競技場でプレシーズンマッチをJ1のヴィッセル神戸と対戦した後、2月28日からいよいよ2016シーズンの開幕である。11月20日まで毎週、ホームやアウェイで熱戦を繰り広げる。J2の上位に行けるよう総力を挙げて戦いたい。

思いをひとつに、願いも一つで、大勢のファンの声援を受けて、毎試合を戦略的に戦って、大きな上昇気流を巻き起こしてもらいたいと願っている。

どうか、熱い大勢のご声援でスタンドを埋め尽くして、FC

岐阜が巻き起す、たくさんの感動を見て欲しい。

子ども時代に父や叔父に連れて行ってもらった高校野球やプロ野球の観戦の感動は今も臉に残っているが、サッカーは選手をもっと真近で見れ、息づかいまで聞こえ、応援の渦の中でもっと大きな感動があり、それら皆さんで共有してほしいと思っている。

応援に来ていただく皆さんに、更にさわやかな感動を味わっていただけるよう、今年は選手一同、更に工夫を凝らし、各市町村のお祭りも楽しんでいただきたいと思います。



写真：© Kaz Photography/FC GIFU

PICK UP!

今月の選手紹介 DF20 岡根直哉選手



写真：© Kaz Photography/FC GIFU

初芝橋本高校時代に、夏の全国大会で準優勝を経験。その後早稲田大学へ進学し、4年生時にはア式蹴球部キャプテンを務めた。2年生の時に清水エスプリス(当時J1)の特別指定選手となり、大学生ながらJ1チームでトレーニング。卒業後、清水エスプリスに入団し、J1デビューを果たす。その後出場機会を求め、モンテディオ山形、栃木SCへ期限付移籍し、昨シーズンFC岐阜へ完全移籍加入した。

昨シーズンは42試合中34試合に出場、3得点を決めた。特にシーズン終盤の第38節千葉戦では貴重な決勝点を決め、残留に大きく貢献した。対人に強く、熱いプレーが持ち味。チームの為に体をはってゴールを守る。



お問合せ・お申し込み先

(株)岐阜フットボールクラブ Tel.058-231-6811

FC岐阜

検索

インタビュー

Q シーズンオフはどのように過ごしましたか？

母校の早稲田大学へ行き、走ったり筋トレをしたりして過ごしました。また普段会うことのできない人に来て、色々な話を聞きました。リフレッシュになりましたし、良い刺激をもらいました。

Q 自身の強みは？

人に強く、1試合を通じて声を出し、チームの為に体を張れるところです。

Q 試合を見に来てくれた方にどんなところを見てもらいたいですか？

自分のプレーを見て何かを感じてもらえたら嬉しいです。上手い下手ではなく、常に全力で戦うことは、調子が良い・悪いとは関係ないですし、調子が悪くても常に100%でプレーをすることはできるので、そこを見てほしいです。

Q 今シーズンの目標は？

ディフェンダーは良いプレーをしても評価が難しいポジションですし、なかなかディフェンスだけの力で勝つことは難しいと思います。しかし、昨年は悔しい思いをしたので、今年は良い順位で終わるように勝って結果を出したいです。